

あなたの街の相談パートナー

人権擁護委員をご存じですか

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間ボランティアで、地域の方等からの人権相談や、人権の大切さを知ってもらうための普及啓発等の活動を行っています。

相談活動

嫌がらせや差別を受けたり、人権を侵害されたりして困っている方の相談に応じます。秘密は厳守します。

日 時 第2(木)午後1時30分～3時30分(予約制)

費用 無料

予約・問合せ 総務企画課人権推進係 ☎内線2271

区内の人権擁護委員 (50音順・敬称略)

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ▶池田 明子 | ▶小林美奈子 | ▶高田 博志 |
| ▶伊藤 花恵 | ▶榊 眞理子 | ▶高田 正道 |
| ▶上原憲太郎 | ▶神保 秀久 | ▶松熊 貴代 |
| ▶小澤 清 | ▶砂田 厚美 | |

人権を擁^{まも}るということ

人権擁護委員 神保 秀久氏



人間は一人では生きていけません。さまざまな人との関わりの中で、持ちつ持たれつで生きています。

私たちが今日いただいた食事は、お日さまや雨等の天の恵みを受け、農家・流通業・商店の方や調理をしてくれた方のおかげで口にできたものです。今着ている服も、さまざまな方の手を通して、身につけることができます。私たちは、自然の恵みや他者との関わりの中で生かされているのです。

私たちの社会は、出自・身体的特性・性格・考え方・趣味等全く違う人たちの集まりで、みんなが異なる個性を持っています。しかしながら、とすると私たちは自分とは違う個性を持った人たちを偏見の目で見たり、差別してしまうことがあります。みんなが違う個性を持っていることはごく自然なことなのに、なぜお互いに心を寄せ合うことができないのでしょうか。

人権を護るということは、みんながお互いの違いを認め合い尊重しながら生きていくこと、お互いを思いやり共生していくことだと私は考えています。そうすることで、みんなが穏やかで心豊かな人生を送ることができると思うのです。

普及啓発活動

人権の花運動

子どもたちが協力して花を育てることを通じて、命の大切さや思いやりの心を育むことを目的に実施しています。令和6年度は、瑞光小学校と峡田小学校の子どもたちが取り組みました。



▲瑞光小学校の皆さん



▲峡田小学校の皆さん

人権教室

人権擁護委員が小・中学校を訪問し、人権についての授業を行い、思いやりの心や人権尊重の大切さを一緒に考える取り組みを行っています。



全国中学生人権作文コンテスト

次代を担う中学生が、日常生活で感じた人権に関する作文を書くことを通じて、人権尊重についての理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的に実施しています。

令和6年度は、荒川区代表および地区代表として第三中学校3年・宇田華都さんの「子どもの権利」が選ばれました。

子どもたちの人権メッセージ

小学生が、身近にある人権についての考えをメッセージにすることで、人権への理解を深め、人権尊重の意識を育むことを目的に実施しています。令和6年度は、荒川区代表として瑞光小学校4年・大田稜さんの作品が選ばれました。



夢をかなえるチャンス

瑞光小学校4年

大田 稜さん

ぼくは、「みんなのチャンス」を読んで、ぼくがいつも当たり前のことだと思っていた事ができていない子どもたちが世界にはいるというのを知りました。たとえば、家の中でふとんでねたり、おなかいっぱいごはんを食べていたりすることはふつうだと思っていきました。でも、それがふつうじゃない子どもたちが世界にいっぱいいるのを知って、おどろきました。

ぼくがもし路上でくらす子どもだったら、もう生きることをあきらめていたかもしれない。なぜかという、ぼくはふるやトイレがなく、せいかつなくらいがでけないといやだからです。だけど、この本にのっていた子どもたちは、せいけつなくらいがでなくても、一生けん命えがおですごしているのです。すごいと思いました。路上でくらす子どもたちのために、ぼくはどんなことができるだろうかと考えました。まず、この本を読んで知ったことを家族や友達などたくさんの人にわかってもらいたいと思います。ぼくと同じようにおどろくことがあれば、何かできなかなと、ぼくは同じように考えて、ぼくは思ったからです。そして、路上でくらす子どもたちのために、何かができるかもしれない「チャンス」があると思いた。ぼくだけでなく、世界中のみんなの力を合わせれば、すべての子どもたちが人間らしくくらすことができると思います。世界中の子どもたち全員にゆめをかなえる「チャンス」がある、とぼくは思います。